



まめまき



令和2年 2月の園だより



すいこう認定こども園

節分とは、もともと季節の変わり目で立春・立夏・立秋・立冬の前日のことを言います。暦の上では、春から新しい年が始まったため、いつの頃からか立春の前日だけが節分となり、春への折り返しとして3日ごろに行われています。神社や寺では、面を付けた鬼に向かって豆をまいて退散させる追儺（ついな）や年男たちが豆をまくところもあります。豆には、穀物の霊が宿っていると考えられているからです。

鰯の頭を家の入り口に刺したり、柗の木の枝を刺したりするのは、鬼は鰯が嫌いなので逃げていくため。柗は、枝にとげがあるので鬼が恐れているからだと言われています。



♪おには そと～ 笑顔 うち～
おには そと～ 笑顔 うち～♪

毎日が忙しく、時間に追われていると、ついついイライラしたり、怒ったり…。そんな自分が嫌だなんて思うこと、ありませんか？ 今日という日は「今日」しかないから…。どうせ同じ一日を過ごすなら、「楽しかったな～♪」と思う一日にしてみませんか？

全国私立保育園連盟
子育てメッセージ



年長さんの姿に思いをはせて

毎年この時期は、インフルエンザの流行を心配していますが、今年は、一人、二人と感染しているお子さんがいるものの、大流行には至っていません。インフルエンザだけではなく、下痢、嘔吐などの冬の病気もあつという間に感染してしまいますので、手洗い・うがいを励行して、予防に努めていかなくてはと思っています。

先日、口田中学校で1年生を対象とした職業講話にお招き頂きました。職業講話とは、旅行者、美容師などそれぞれの専門職の方々が、その仕事に興味を持っている生徒さんに仕事の楽しさや喜び、苦労などを話し、働くということについて学ぶ時間です。私は、乳幼児教育に関心のある生徒さんにお話をしましたが、どの生徒さんも真剣な表情で聞いてくれました。「大切にしていることは何か」など内容の濃い質問ばかりで、熱心さを伺うことができました。1年1組の教室まで案内してくれた男の子は、「僕は、すいこうの卒園児です。覚えている先生は、担任だったT先生です。今、陸上をやっています。」と話してくれました。卒園して7年。すいこうの卒園児は、とてもたくましく、礼儀正しく、ずっと話をしていたくなるほど素敵な男の子でした。すいこうは、今と変わらず、しっかりと心を育くむ保育をしていたのだと嬉しく思いました。

さて、今月は1年間のおそびの集大成ともいえる「卒園記念 生活発表会」があります。参加するのは幼児組さんです。年少さん年中さんは、日頃踊っているダンスや大好きなお話を、子どもたちのアイディアを取り入れてアレンジしていますので、どの子どもも無理なく楽しく取り組んでいます。当日は、年少さんは、「僕を見て！」「私を見て！」と言わんばかりに全身を使って、表現してくれることでしょう。年中さんは、自分の役割を一生懸命やろうという気持ちで、その役になりきり、元気いっぱい楽しんでくれることと思います。反面、いつもとは違う環境で、緊張したり、涙が出たりす

るお子さんもいるかもしれませんが、どちらも本当の姿です。保護者の皆さんに見ていただくことを楽しみにして、しっかり取り組んできたことを褒めてあげたいですね。年長さんはといたしますと、昨年の年長さんの姿を見ており、「次は僕たちの番！」と思いながら、4月からお当番活動や縦割り保育に取り組んできました。発表会においても「太鼓をたたきたい」とか「マーチングをやりたい」と自分のやりたいことをちゃんと決めていきます。少しずつ練習をすすめていく中で、友だちと協力しあい、お互いに褒め合ったり、声を掛け合ったりしています。当日は、年長さんらしく一人ひとり自分の持っている力を十分に発揮してくれることでしょう。そんな年長さんの姿を年少、年中さんの保護者の皆さんにも見ていただきたいと思えます。年長さんの生き生きとした姿をご覧いただき、「来年は、再来年は、あんなふうに堂々と、自信をもって発表できるようになるんだ」と、ご自分のお子さんの姿と重ね、成長を楽しみにしていただけると嬉しく思います。昨年、年少さんの保護者から、「我が子の出番はすぐに終わるのに、知らない子の演技をずっと見なくてはならないのか」というご意見をいただきましたが、終了後は、「自分の子もあんな風に大きくなって欲しい」とか、「年長さんの姿に感動した。」などと嬉しいお言葉もいただきました。お釈迦様の教えの中に「鬼子母神」といって、我が子だけをかかわりすぎて餓鬼道に落ちた母親の話があります。私たち職員と保護者の皆さんとでONE TEAMとなり、すいこうの全ての子どもたちの成長を見守っていただければ幸いです。

今月は、子どもたちがちょっぴり怖がっている豆まきがあります。「鬼は外」の元気な掛け声で、心の中の意地悪鬼や泣き虫鬼を追い払い、一年間、元気に過ごせることを願っています。

園長

立春

冬至と春分の間の2月4日ごろにあたります。立春は、冬と春の分かれる節目の日である「節分」の翌日で「寒さがあけて春に入る日」言い換えると、春の初日です。



2月は
如月（きさらぎ）

旧暦2月の異名です。寒さで着物をさらに重ねて着ることから「着更着（きさらぎ）」とする説が有力です。そのほか草木の芽が張り出す月で、「草木張り月（くさきはりづき）」が転じたとする説もあります。

語源由来辞典より

